



星
ほし

宙
ぞら

通
つう

信
しん

2024

12月



浪合パーク
2024,11,26発行
#7

ついに気温が氷点下になり、昼間の気温も10℃以下冬が始まった浪合パークです。

日没後の南西の空には明るい「宵の明星」金星。南の空にはみずがめ座に土星が輝いています。さらに東の空には、明るい木星が上がってきます。木星の明るさは-2.8等で、金星の-4.3等にはかないませんが、早い時間に沈んでしまう金星に代わり木星は一晩中どの1等星よりも明るく夜空に輝きます。日没と共に東から上がって来ますので、木星が見頃を迎えることを意味しています。明るい星が多い冬の星座の中でも、一際明るい木星は見つけやすいでしょう。木星はおうし座にありますが、すばる、オリオンも近く冬の空はさながらクリスマスイルミネーションのようですね。

12月の夜空

- 1日(金) ● 新月
- 7日(土) (二十四節季) 大雪
- 8日(日) 木星が衝
- ★土星食(潜入18:20/出現19:00)
- 9日(月) ● 上弦
- 14日(土) プレアデス星団食
- ふたご座流星群が極大(条件最悪)
- 15日(日) ● 満月
- 18日(水) 月が火星に接近
- 21日(土) (二十四節気) 冬至
- 22日(日) 19時こぐま座流星群が極大
- 23日(月) ● 下弦
- 31日(火) ● 新月

12月オススメ星座

(秋の星座)

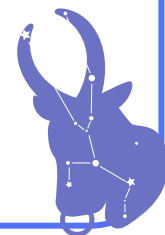
ペガスス・カシオペア

アンドロメダ・ペルセウス・うお

くじら・おひつじ・みずがめ

(冬の星座)

おうし・ぎょしゃ・オリオン



今月見頃の天体

散開星団 ペルセウス座二重星団・すばる

球状星団 M15 (ペガスス座)

惑星状星雲 らせん状星雲 (みずがめ座)

銀河 M31 (アンドロメダ銀河)

散光星雲 オリオン大星雲M42 など

今月の天体イベント①

「土星食」「プレヤデス食」

「食」は月が天体を隠す現象ですが、8日は「土星食」が起こります。

18:20頃月に隠れ始め(潜入)、19:00頃再び出現します。

望遠鏡、双眼鏡でその瞬間を楽しむこともできます。

おうし座のプレヤデス星団(すばる)は月の通り道にあるため時々「月に隠される」ことがあります。これを「プレヤデス食」と呼びます。

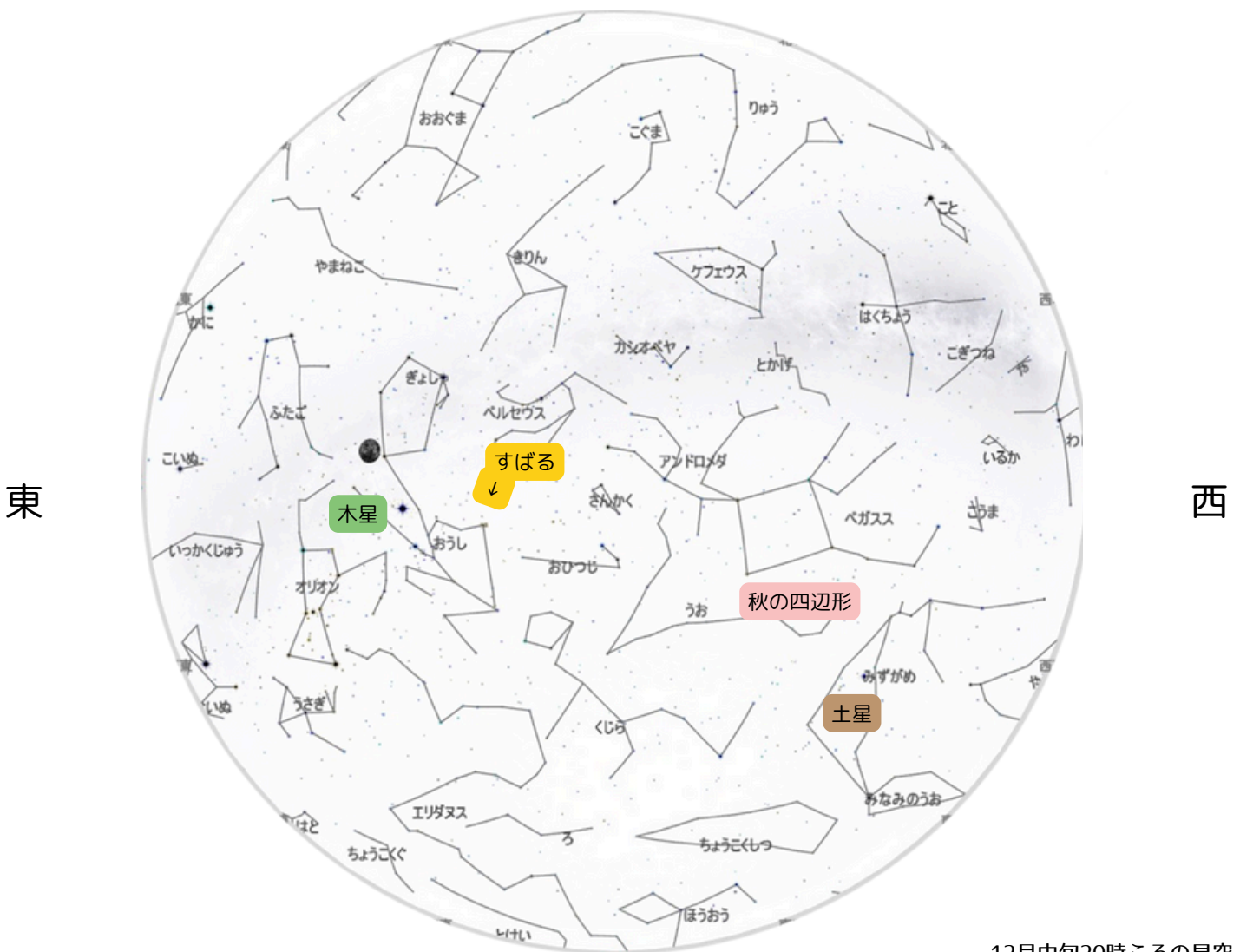
14日は美しく輝く「すばる」の前を月が通過する様子が、他の星の食と異なり見ものです。

今月の天体イベント②

14日「ふたご座流星群」、22日「こぐま座流星群」が極大

流星群が極大とは、出現数がピークとなる日（時間）。年間最大の出現数を誇る「ふたご座流星群」で期待大ですが、今年は翌日に満月を迎える月が隣のおうし座にあり、せっかくの流れ星も見づらい夜になりそうです。22日に極大を迎える「こぐま座群」は19時が極大とされています。こちらは出現数はさほど多くありませんが、北極星を見つけて流れ星の出現を待ちましょう。そして、3大流星群の一つとされ、1月4日極大を迎える「しぶんぎ座流星群」が、クリスマスあたりから飛び始めるでしょう。しぶんぎ座は、もう現在は存在しない星座ですが、おおぐま座の「北斗七星」あたりが放射点となります。

北



12月中旬20時ごろの星空
Stella Navigator12にて作成

南

記事を書いた人

星空案内人認定制度により、2015年に「星空案内人」となる。飯田市美術博物館プラネタリウム解説員として5年、阿智村「天空の楽園 ヘブンスそのはら」にて星空ガイドを6年担当。わかりやすい解説、もっと星を見たくなる、知りたくなる星空ガイドを心がける。小さな天文学者の会会員。長野県プラネタリウム連絡協議会会員。



星空案内人 川手俊美